



りすぐみだより

2023年度3月号 尚徳福祉会生麦保育園

桜のつぼみが膨らみ始め、春の訪れを感じています。今年度も残すところあとわずか。保護者の皆様、保育へのご理解とご協力、本当にありがとうございました。至らない点もあったかと思いますが、子どもたちと楽しい毎日を過ごし、保育者自身も学びの多い一年でした。残り1カ月、どうぞよろしくをお願いします。

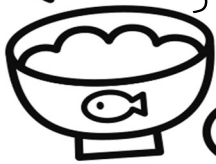


子どものようす

子どもたちは、進級することが楽しみな半面、ちょっぴり不安な気持ちもあるようです。この1年で、いろいろなことに興味をもち、自分でやってみたい！できた！！と自信がついてきたように思います。

小さいお友だちにおもちゃを貸してあげたり、頭をなでようとしていたり、「どうしたのー」と声を掛けたり、その姿はもうすっかりお兄さん、お姉さんです。また、年上のお兄さんやお姉さんと一緒に遊んでいると「自分もやってみたい」という気持ちから、いろいろなことに挑戦する意欲がわいてくるようです。

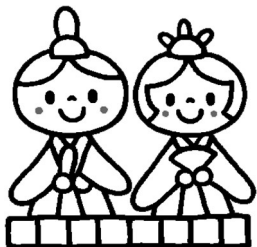
ぞう組さんと手をつないで、貝の浜公園から、河川敷の方を歩いてたくさん歩いたお散歩も「たのしかった」「今日も行く？」と、歩けるかな？と心配した私たちをよそに楽しい経験になったようです。子どもたちの、やってみたい、できるよ。の気持ちを大切にたくさん遊んで、素敵な時間を過ごしていけたらと思います。



ひなまつり

おひなさまと、おだいらさまの指人形制作をしました。保育者の作ったおひなさまを見ながら、うれしいひなまつり♪の歌を歌うと、「プリンセス？」「かわいいね！」と、興味津々の子どもたち。始めに、お顔とお洋服の模様をクーピーで描いて、次にさいしや、扇、冠、しゃくをのりで貼りました。お顔やお洋服は、好きな色を使い、思い思いの表情、デザインになり、のりは「てがべたべたになった」と、

手を洗っては、貼る姿が見られました。できた指人形を使って、歌を歌ったり、ごっこ遊びを楽しんだりしています。



おねがい

持ち物に名前を書いてください。名前が消えかかっているものもありますので、もう一度ご確認ください。

友だちや、自分のケガにつながりますので、つめの長さの確認をこまめにお願いたします。

